# 営農情報（水稲）

令和７年８月
福岡大城農業協同組合
南筑後・久留米普及指導センター

田植え後の高温で、ガスや藻の発生ほ場が多く、一部で初期生育が抑制されたほか、初期除草剤の効果不足による雑草多発が懸念されましたが、全般的には生育旺盛で、分げつも多くなっています。今後も高温で経過した場合、出穂期は平年より早くなると予想されます。また、肥料切れが早まる恐れがあり、特に基肥一発施肥体系では注意が必要です。ほ場の状況をよく観察して、除草や施肥・防除等、適期作業に努めてください。

## １　水管理

（１）中干し以降の水管理

中干し後は、根の活力を維持するため、間断かん水を行います。ただし、穂ばらみ～穂揃期にかけては、最も水が必要な時期のため浅水管理します。**特に、出穂の前後１週間は水を切らさないようにします（花水）。**中干しは出穂20日前までに終わりましょう。

なお、**高温時に水分ストレスが加わると未熟粒が増加し、特に出穂期以降は顕著**になります。高温障害回避のためには、適正な水管理で、根の機能低下を防ぐことも重要です。

（２）台風など強風時

風雨による葉の裂傷が心配されるため、深水にして稲体を守ります。なお、台風通過後の数日間は、水分の蒸散が激しいため、深水を保ち続けましょう。

## ２　穂肥

**葉色が低下した状態で高温が続くと白未熟が発生しやすくなります。肥料切れが見られる場合には、穂肥を増肥します。ただし、過剰施肥は稲体の軟弱化を招き、病害虫の多発生や収量・品質低下の要因となるため、生育状況に応じて調整しましょう。**

| 品種 | 出穂期<br>6月22日植の場合の目安 | 穂肥【NK7号】　/10a | | |
|---|---|---|---|---|
| | | １回目<br>（出穂20～18日前） | | ２回目<br>（１回目の７～10日後） |
| 元気つくし | 8/17ごろ | 7/30ごろ | 15kg | 10kg |
| ヒノヒカリ | 8/24ごろ | 8/5ごろ | 20kg | － |
| ツクシホマレ | 8/30ごろ | 8/11ごろ | 25kg | 20kg |

※基肥一発施肥体系で**幼穂形成期ごろに**肥料切れが見られる場合には、**出穂前10日ごろまでに速攻性肥料で窒素量1kg/10a程度**施用する。

## ３　病害虫防除　　防除の際は、湛水することで、薬剤の防除効果が安定します。

梅雨期間が短く、飛来期間も短くなったため、海外飛来性害虫（ウンカ類、コブノメイガ）の飛来量は昨年より少ないと予想されます。しかし、ウンカ類、特にトビイロウンカは急激に増加することがあるため、今後の発生状況には十分な注意が必要です。

＜裏面に続く＞

また、**斑点米カメムシ類が急増**しているとの注意報が病害虫防除所から発表されました（7月22日付）。今後も高温が続き、カメムシ類が多発生すると予想されるため、確実な防除が必要です。防除適期は**穂揃期とその７～10日後ごろで２回防除が効果的**です。また、出穂２週間前までの畦畔除草の徹底で発生源を無くすとともに、広域一斉防除することで防除効果を高めましょう。

高温多湿により「紋枯病」が多発生すると、倒伏の要因となります。昨年多発生したほ場では、リンバー粒剤（3～4kg/10a）による防除を実施してください。

## 【基本防除①】（８月10日前後）

| 元気つくし、ヒノヒカリ、ツクシホマレ：8月９～14日 | | | 対象病害虫 |
|---|---|---|---|
| 粉剤 | オーケストラロムダンモンカット粉剤DL | ３～４kg/10a | 紋枯病<br>ｳﾝｶ類幼虫<br>ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ |
| 液剤 | オーケストラロムダンモンカットエアー<br>スタークル顆粒水溶剤 | 1000倍<br>2000倍 | 紋枯病<br>ウンカ類<br>ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ<br>ｶﾒﾑｼ類 |

## 【基本防除②】（出穂～穂揃期ごろ）

| 元気つくし：8月18～22日ごろ<br>ヒノヒカリ、ツクシホマレ：8月25～30日ごろ | | | 対象病害虫 |
|---|---|---|---|
| 粉剤 | トライトレボン粉剤DL | 4kg/10a | いもち病<br>ウンカ類<br>ｶﾒﾑｼ類 |
| 液剤 | ブラシンフロアブル<br>トレボンEW | 1000倍<br>1000倍 | |

## 【補正防除】（乳熟期ごろ～）

| ウンカ類、**カメムシ類**が多発生した場合 | | | | 対象病害虫 |
|---|---|---|---|---|
| 粉剤 | スタークル粉剤DL | | 3kg/10a | ウンカ類<br>ｶﾒﾑｼ類 |
| 液剤 | スタークル顆粒水溶剤 | ウンカ類<br>カメムシ類 | 3000倍<br>2000倍 | |
| 粒剤 | スタークル豆つぶ | ウンカ類<br>カメムシ類 | 250～500ｇ/10a<br>250ｇ/10a | |

**☆農作業時の熱中症に注意しましょう!!**

●日中の気温の高い時間を避け、涼しい時間帯に作業　●こまめな休息と水分補給

**【農薬の安全使用上の注意】**①散布前に必ず農薬ラベルの登録内容等を確認！②散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！　③散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！　④防除履歴の正確な記帳！